

令和7年度 学力向上を図るための全体計画

○学習指導要領のねらい

○東京都教育委員会教育目標

○練馬区教育委員会教育目標

等

教育目標

- 学習に励む
- 自分や他人を大切にする
- 心身を鍛える
- 責任をもって仕事をする

○学校地域の実態と地域の期待や願い

地域には、旧川越街道の宿場「下練馬宿」の名残をとどめる商店街と住宅街がある。また、自衛隊官舎がある。近年、地域や商店街の活性化と地域の特色づくりが一層強く進められている。このような地域にある学校として、本校の教育活動に対しても保護者や地域の方々の関心は高く、協力的である。

○保護者の期待や願い

確かな学力の定着とともに地域に根ざした教育実践を行ってほしいとの保護者の期待や願いが強い。

○期待される生徒像

教育目標に示されている 4 つの目標が達成できる生徒を目指す。

学校経営計画（学力向上に関わる具体的な指針）

- ・生徒の主体的・対話的で深い学びを実現させる授業改善を行い、生徒と共に教師も考え、意見交換する中で、言語活動を充実させるとともに、思考力・判断力・表現力を伸ばす。
- ・ICT機器特にタブレット端末を効果的に活用して、わかりやすい授業を行う。
- ・自習ソフトを活用し、学力補充を充実させ、自ら学ぶ意欲を高める。定期的に家庭学習強化期間を設け、家庭学習の習慣を定着させる。
- ・「数学科」、「英語科」の少人数授業においては、きめ細かい個に応じた授業を計画、実践することにより深い学びを体験させる。
- ・「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の3観点の力が、お互いに他の力により影響を与えながら、均等に身につく授業を展開する。

各教科の指導の重点

- ・3観点の力がお互いに他により影響を与えながら、均等に身につくように授業計画を行い、それを実施していく。
- ・年度当初や単元ごとに、3観点についての評価の仕方を具体的に説明する。
- ・授業によって伸ばす各観点の能力を確実に捉えることにより、評価と指導の一体化を推進し、授業改善につなげていく。
- ・少人数授業の指導方法を工夫し、個に応じた授業を展開していく。

総合的な学習の指導の重点

- ・職場体験活動などの社会体験や、見学や調査、討論や発表などの学習活動、課題解決的な学習を積極的に取り入れ、教育計画に明確に位置付ける。
- ・個人やグループ等の学習形態や学習環境、地域の人々との連携のあり方、地域の教材や人材等の活用などについて工夫する。

生活指導の指導の重点

- ・心の教育を推進する。
- ・人と人との心が響き合う学校を目指す。
- ・生徒理解に努めるとともに、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員、学校生活支援員と連携して相談・支援活動を充実し、悩みや不安を自分自身で解決できる生徒の育成を図る。

本校における【確かな学力】の重点

本校では学習指導要領に示された基礎・基本を重視し、次の力を育成する。

- 確かな学力を身に付けるための「読み」「書き」「計算」の力。
- 課題に対し主体的に判断し、問題をよりよく解決できる力。
- 習得した知識を活用する力

知識・理解・技能
思考力
判断力
表現力
学ぶ意欲

「確かな学力」

「基礎・基本」
学習指導要領に示された目標等を達成する力

「読み」「書き」「計算」

※「基礎・基本」を学習指導要領に示された目標等を達成する力と定義する。

道徳教育の指導の重点

- ・道徳的判断力、道徳的心情、道徳的实践意欲と態度を養う。
- ・豊かな広い心を養い、人間としての生き方について自ら考え、自ら語れる生徒を育成する。
- ・豊かな人間関係の在り方を考えて行動する態度を育成する。
- ・進んで協力する心や社会に貢献していく態度を養う。
- ・家庭・学校・地域社会が一体となった道徳教育を推進する。

特別活動の指導の重点

- ・集団の一員としての自覚を高める。
- ・学級活動では、相互に助け合い、認め合う人間関係をつくり、集団や社会への適応を図る。
- ・生徒会活動を通して、学校生活を向上させるための自主的・自律的な態度を養う。また、地域の人たちとの交流を深めながら奉仕的な活動に取り組み、社会の一員としての自覚を高める。
- ・学校行事において、協調の精神を育てる。また、社会貢献の精神を養う。

キャリア教育の指導の重点

- ・体験的学習を重視した授業により、中学校の学びと社会生活を関連づけ、将来必要とされる基礎学力の大切さを知ることによって学習意欲を高めていく。
- ・「キャリア・パスポート」を活用し、過去を振り返りながら自らの進路を見つめさせ、主体的に進路選択できる能力と勤労観・職業観を身に付けさせる。
- ・キャリア教育の充実のための体験学習を重視し、生徒一人一人の特性に合わせた社会性を育む学習を推進する。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携と工夫	小中一貫教育の視点
○主体的・対話的で深い学びを実現させる授業改善 ○1時間ごとの学習の「めあて」を明確にした学習活動の展開 ○数学科、英語科での少人数授業の指導方法の工夫と個に応じた授業の展開 ○ICTを活用した効果的な授業（全教科）の工夫と改善 ○英語科でのデジタル教科書の活用 ○授業規律を徹底した学習活動の展開	○定期的に家庭学習強化月間を設けての家庭学習習慣の定着 ○朝読書の充実と落ち着いた学習環境の確立 ○長期休業中や定期考査前、放課後の補習など、年間を通じた計画的な補充学習	○新学習指導要領に即した適正な評価・評定について校内研修と授業の実施 ○各教科におけるICT活用の効果的な活用について研修 ○配慮を要する生徒の情報を共有し、基本的な学習習慣の定着を図り、一人一人の個性や能力を伸ばす指導法の研修	○確かな学力を身に付けさせるための、指導と評価の一体化 ○生徒による授業評価アンケートの実施 ○より信頼度の高い評価・評定するための検証・点検作業の実施 ○生徒の自己評価、学力調査の結果などを生かし、生徒の学習状況の客観的な把握	○学校公開、授業参観の実施 ○地域行事への参加 ○地域の伝統文化の学習 ○地域人材を活用した体験学習の実施 ○学校だよりやHPを活用した情報公開の工夫 ○学校評価アンケートの実施	○目指す15歳の姿の具体化に向けた取組 ○小学校への出前授業、夏季休業中の学力補充教室の実施 ○校区別協議会での教科分科会の実施

授業改善策の検証方法

全国学力・学習状況調査、定期考査、生徒・保護者アンケート、学校関係者評価、生徒観察を基に、教科部会で改善策を検証する。